

# 市内経営動向調査

平成29年1月～3月期 (第4四半期)

- ① 調査の時期 平成29年4月      ② 調査の期間 平成29年1月～3月  
③ 調査対象企業 280社      ④ 回収状況 147社 (回答率52.5%)  
⑤ 調査内容 建設業、製造業、卸・小売業、サービス業を営む企業に対して、佐世保の景況感、  
業界の景況感、前年同期比売上動向 (H28.1月～3月)、前年同期比採算動向  
(H28.1月～3月) を調査

※DI=ディフュージョン・インデックスとは《「増加・好転の割合」－「減少・悪化の割合」》

## 【総括】

### ○全業種

全業種では、業界の景況感においてDI値の改善がみられた。  
DI値の低調な数値が続く等、業況改善の動きは力強さを欠く中、前回全ての調査項目において回復の動きとなったが、今回はほぼ横ばいの動きとなった。しかし、業界の景況感においては、3期連続で改善し、熊本震災発生前の水準まで回復した。依然として公共工事を含む受注の減少や人手不足、原材料の高騰といった懸念する声も多く寄せられ、先行きも不透明感が強いが、業界の景況感の回復に見られるよう、外部環境の好転による地域全体の業況改善に期待したい。  
全国的には、消費者の節約志向や人手不足の影響拡大、原材料・燃料の値上がりがかさねている中、春の観光需要に伴う消費の拡大や海外経済の回復に期待する声が聞かれ、今後横ばい圏内で推移する見通しである。

### ○佐世保市内の景況感

DI値は、建設業において改善したものの、製造業、卸・小売業、サービス業において悪化した。  
前回まで全ての業種で改善が見られる等、回復の兆しが窺えていたが、今回建設業を除く業種で悪化に転じた。先行きの懸念材料から、全国的にも今後横ばいといった慎重な見方が窺えるが、業界の景況感には回復傾向にある中、建設業ではDI値が消費増税前の水準まで持ち直しつつあるため、今後の動向を注視したい。

### ○市内業界の景況感

DI値は、全ての業種において改善した。  
今回は前回に続き、全ての業種において回復の兆しが窺える結果となった。  
前回最も大きく改善した建設業では、『大変悪い』『悪い』と回答した企業が4.1%減少し、▲15.5 (前回比+2.9ポイント) と僅かであるが改善し全ての業種の中で高い数値を保っている。

### ○前年同期比の売上動向









































DI値は、製造業、卸・小売業、サービス業において改善したものの、建設業において悪化した。  
熊本震災以降、これまで一進一退が続いていたサービス業では、▲17.1 (前回比+7.2ポイント) と改善に転じた。全国的にもゴールデンウィーク等に伴う観光需要の消費拡大に期待する声が聞かれるため、今後の回復に期待したい。また、4期連続で悪化していた製造業では、▲17.3 (前回比+2.7ポイント) と改善に転じた。

### ○前年同期比の採算動向

DI値は、製造業において改善したものの、建設業、卸・小売業、サービス業において悪化した。  
依然として、人手不足の影響拡大による労務費の上昇や原材料費の上昇、価格競争を問題視する声が寄せられた。全国的にもこれらの要因がかさねる中、先行きは懸念材料が多く、業況改善に向けた動きは力強さを欠いている。

①佐世保の景況感について				②市内業界の景況感				③昨年同期比の売上の動向は？				④昨年同期比の採算動向は？			
<b>全業種 DI値 ▲ 30.4</b>				<b>全業種 DI値 ▲ 28.6</b>				<b>全業種 DI値 ▲ 21.1</b>				<b>全業種 ▲ 29.8</b>			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	4	2.72%	2.7	1.好転	3	2.08%	2.1
2.良い	5	3.45%	3.4	2.良い	9	6.12%	6.1	2.やや増加	24	16.33%	16.3	2.やや好転	12	8.33%	8.3
3.普通	91	62.76%	62.8	3.普通	87	59.18%	59.2	3.変わらない	60	40.82%	40.9	3.変わらない	71	49.31%	49.4
4.悪い	46	31.72%	31.7	4.悪い	47	31.97%	32.0	4.やや減少	40	27.21%	27.2	4.やや悪化	48	33.33%	33.3
5.大変悪い	3	2.07%	2.1	5.大変悪い	4	2.72%	2.7	5.減少	19	12.93%	12.9	5.悪化	10	6.94%	6.9
<b>建設業 DI値 ▲ 17.8</b>				<b>建設業 DI値 ▲ 15.5</b>				<b>建設業 DI値 ▲ 26.7</b>				<b>建設業 DI値 ▲ 22.8</b>			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	1	2.22%	2.2	1.好転	1	2.27%	2.3
2.良い	2	4.44%	4.4	2.良い	3	6.67%	6.7	2.やや増加	3	6.67%	6.7	2.やや好転	2	4.55%	4.5
3.普通	33	73.33%	73.4	3.普通	32	71.11%	71.1	3.変わらない	25	55.56%	55.5	3.変わらない	28	63.64%	63.6
4.悪い	9	20.00%	20.0	4.悪い	9	20.00%	20.0	4.やや減少	9	20.00%	20.0	4.やや悪化	8	18.18%	18.2
5.大変悪い	1	2.22%	2.2	5.大変悪い	1	2.22%	2.2	5.減少	7	15.56%	15.6	5.悪化	5	11.36%	11.4
<b>製造業 DI値 ▲ 28.5</b>				<b>製造業 DI値 ▲ 20.7</b>				<b>製造業 DI値 ▲ 17.3</b>				<b>製造業 DI値 ▲ 27.6</b>			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	3	10.34%	10.3	1.好転	2	6.90%	6.9
2.良い	1	3.57%	3.6	2.良い	2	6.90%	6.9	2.やや増加	3	10.34%	10.3	2.やや好転	2	6.90%	6.9
3.普通	18	64.29%	64.3	3.普通	19	65.52%	65.5	3.変わらない	12	41.38%	41.5	3.変わらない	13	44.83%	44.8
4.悪い	9	32.14%	32.1	4.悪い	8	27.59%	27.6	4.やや減少	8	27.59%	27.6	4.やや悪化	11	37.93%	37.9
5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.減少	3	10.34%	10.3	5.悪化	1	3.45%	3.5
<b>卸・小売業 DI値 ▲ 39.5</b>				<b>卸・小売業 DI値 ▲ 44.7</b>				<b>卸・小売業 DI値 ▲ 21.1</b>				<b>卸・小売業 DI値 ▲ 32.4</b>			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	0	0.00%	0.0	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	1	2.63%	2.6	2.良い	0	0.00%	0.0	2.やや増加	8	21.05%	21.0	2.やや好転	3	8.11%	8.1
3.普通	21	55.26%	55.3	3.普通	21	55.26%	55.3	3.変わらない	14	36.84%	36.9	3.変わらない	19	51.35%	51.4
4.悪い	14	36.84%	36.8	4.悪い	14	36.84%	36.8	4.やや減少	11	28.95%	28.9	4.やや悪化	13	35.14%	35.1
5.大変悪い	2	5.26%	5.3	5.大変悪い	3	7.89%	7.9	5.減少	5	13.16%	13.2	5.悪化	2	5.41%	5.4
<b>サービス業 DI値 ▲ 38.3</b>				<b>サービス業 DI値 ▲ 34.3</b>				<b>サービス業 DI値 ▲ 17.1</b>				<b>サービス業 DI値 ▲ 38.3</b>			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	0	0.00%	0.0	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	1	2.94%	2.9	2.良い	4	11.43%	11.4	2.やや増加	10	28.57%	28.6	2.やや好転	5	14.71%	14.7
3.普通	19	55.88%	55.9	3.普通	15	42.86%	42.9	3.変わらない	9	25.71%	25.7	3.変わらない	11	32.35%	32.3
4.悪い	14	41.18%	41.2	4.悪い	16	45.71%	45.7	4.やや減少	12	34.29%	34.3	4.やや悪化	16	47.06%	47.1
5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.減少	4	11.43%	11.4	5.悪化	2	5.88%	5.9

市内経営動向調査 平成 28 年度第 4 四半期（平成 29 年 1 月～3 月）DI 景況感 ※DI 値は平成 28 年第 3 四半期（平成 28 年 10 月～12 月）と比較

	佐世保の景況感	業界の景況感	前年同期比売上げ動向	前年同期比採算動向
全業種	DI ▲28.0 ⇒ ▲30.4 ↘  ⇒  ↓	DI ▲33.3 ⇒ ▲28.6 ↗  ⇒  ↑	DI ▲20.9 ⇒ ▲21.1 ↗  ⇒  ↓	DI ▲25.5 ⇒ ▲29.8 ↗  ⇒  ↓
建設業	DI ▲18.4 ⇒ ▲17.8 ↘  ⇒  ↑	DI ▲18.4 ⇒ ▲15.5 ↘  ⇒  ↑	DI ▲15.8 ⇒ ▲26.7 ↗  ⇒  ↓	DI ▲18.4 ⇒ ▲22.8 ↗  ⇒  ↓
製造業	DI ▲20.0 ⇒ ▲28.5 ↗  ⇒  ↓	DI ▲20.8 ⇒ ▲20.7 ↘  ⇒  ↑	DI ▲20.0 ⇒ ▲17.3 ↘  ⇒  ↑	DI ▲28.0 ⇒ ▲27.6 ↘  ⇒  ↑
卸・小売業	DI ▲36.8 ⇒ ▲39.5 ↗  ⇒  ↓	DI ▲48.8 ⇒ ▲44.7 ↘  ⇒  ↑	DI ▲23.2 ⇒ ▲21.1 ↘  ⇒  ↑	DI ▲18.4 ⇒ ▲32.4 ↗  ⇒  ↓
サービス業	DI ▲34.2 ⇒ ▲38.3 ↗  ⇒  ↓	DI ▲40.5 ⇒ ▲34.3 ↘  ⇒  ↑	DI ▲24.3 ⇒ ▲17.1 ↘  ⇒  ↑	DI ▲37.8 ⇒ ▲38.3 ↗  ⇒  ↓



DI100～81



DI80～41



DI40～11



DI10～▲10



DI▲11～▲40

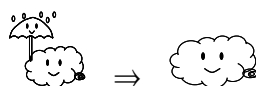


DI▲41～▲80



DI▲81～▲100

DI ▲30.0⇒▲10.0 ↘ (平成 21 年度第 1 四半期～平成 28 年度第 4 四半期の傾向)



↑ (平成 28 年度第 3 四半期と平成 28 年度第 4 四半期との比較)

## 【概 況】

(全業種) ※ ( ) 内は前回調査値

### ① 市内の景況感について

「大変良い」0% (0%)、「良い」3.4% (2.2%)、「普通」62.8% (67.6%)、「悪い」31.7% (28.8%)、「大変悪い」2.1% (1.4%) となり、DIは▲30.4 (▲28.0) と2.4ポイント悪化した。業種別DIでは、建設業でプラスに作用し、製造業、卸・小売業、サービス業ではマイナスに作用した。

### ② 市内における業界の景気動向について

「大変良い」0% (0%)、「良い」6.1% (4.4%)、「普通」59.2% (57.9%)、「悪い」32.0% (36.2%)、「大変悪い」2.7% (1.5%) となり、DIは▲28.6 (▲33.3) と4.7ポイント改善した。業種別DIでは、全業種においてプラスに作用した。

### ③ 前年同期 (平成28年1月～3月) 比の売上動向について

「増加」2.7% (2.2%)、「やや増加」16.3% (15.8%)、「変わらない」40.9% (43.1%)、「やや減少」27.2% (29.5%)、「減少」12.9% (9.4%) となり、DIは▲21.1 (▲20.9) と0.2ポイント悪化した。業種別DIでは、製造業、卸・小売業、サービス業でプラスに作用し、建設業ではマイナスに作用した。

### ④ 前年同期 (平成28年1月～3月) 比の採算動向について

「好転」2.1% (0%)、「やや好転」8.3% (10.1%)、「変わらない」49.4% (54.3%)、「やや悪化」33.3% (28.3%)、「悪化」6.9% (7.3%) となり、DIは▲29.8 (▲25.5) と4.3ポイント悪化した。業種別DIでは、製造業でプラスに作用し、建設業、卸・小売業、サービス業ではマイナスに作用した。

《業種別概況》 ※（ ）内は前回調査値

**(建設業)** 回答：78社中45社、回答率57.7%

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」4.4% (2.6%)、「普通」73.4% (76.4%)、「悪い」20.0% (18.4%)、「大変悪い」2.2% (2.6%) となり、DIは▲17.8 (▲18.4) と0.6ポイント改善した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」6.7% (7.9%)、「普通」71.1% (65.8%)、「悪い」20.0% (23.7%)、「大変悪い」2.2% (2.6%) となり、DIは▲15.5 (▲18.4) と2.9ポイント改善した。

○前年同期比の売上げは、「増加」2.2% (2.6%)、「やや増加」6.7% (10.5%)、「変わらない」55.5% (58.0%)、「やや減少」20.0% (18.4%)、「減少」15.6% (10.5%) となり、DIは▲26.7 (▲15.8) と10.9ポイント悪化した。

○前年同期比の採算動向は「好転」2.3% (0%)、「やや好転」4.5% (5.3%)、「変わらない」63.6% (71.0%)、「やや悪化」18.2% (13.2%)、「悪化」11.4% (10.5%) となり、DIは▲22.8 (▲18.4) と4.4ポイント悪化した。

#### 《主な自由意見》

##### ○昨年同期の売上動向

好転要因では、公共工事を含む受注の増加などの回答があった。

悪化要因では、公共工事を含む受注数、受注額の減少、工事延長の影響などの回答があった。

##### ○昨年同期の採算動向

好転要因では、受注増加、工事の利益率向上などの回答があった。

悪化要因では、売上の減少や受注金額の低下、競争の激化、外注費の増加などの回答があった。

##### ○経営上の問題

人材不足（若年層、技術者）や受注の確保、後継者問題を問題視する声が寄せられた。

(製造業) 回答：64社中29社、回答率45.3%

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」3.6% (8.0%)、「普通」64.3% (64.0%)、「悪い」32.1% (28.0%)、「大変悪い」0% (0%) となり、DIは▲28.5 (▲20.0) と8.5ポイント悪化した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」6.9% (12.5%)、「普通」65.5% (54.2%)、「悪い」27.6% (33.3%)、「大変悪い」0% (0%) となり、DIは▲20.7 (▲20.8) と0.1ポイント改善した。

○前年同期比の売上げは、「増加」10.3% (0%)、「やや増加」10.3% (16.0%)、「変わらない」41.5% (48.0%)、「やや減少」27.6% (28.0%)、「減少」10.3% (8.0%) となり、DIは▲17.3 (▲20.0) と2.7ポイント改善した。

○前年同期比の採算動向は「好転」6.9% (0%)、「やや好転」6.9% (8.0%)、「変わらない」44.8% (56.0%)、「やや悪化」37.9% (28.0%)、「悪化」3.5% (8.0%) となり、DIは▲27.6 (▲28.0) と0.4ポイント改善した。

《主な自由意見》

○昨年同期の売上動向

好転要因では、受注の増加や販売数量、販売単価の上昇、季節商品の好調などの回答があった。  
悪化要因では、受注の減少や為替レートの影響、価格競争、予定工期の延長などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、出荷量増加や取引先と経費の見直し、販売単価の上昇などの回答があった。  
悪化要因では、原材料の値上がりや生産数減少、新工場稼働に伴う経費増加などの回答があった。

○経営上の問題

人材不足や後継者の育成、営業力の低さを問題視する声が寄せられた。

**(卸・小売業) 回答：73社中38社、回答率52.1%**

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」2.6% (0%)、「普通」55.3% (63.2%)、「悪い」36.8% (34.2%)、「大変悪い」5.3% (2.6%) となり、D Iは▲39.5 (▲36.8) と2.7ポイント悪化した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」0% (0%)、「普通」55.3% (51.2%)、「悪い」36.8% (46.2%)、「大変悪い」7.9% (2.6%) となり、D Iは▲44.7 (▲48.8) と4.1ポイント改善した。

○前年同期比の売上げは、「増加」0% (5.1%)、「やや増加」21.0% (20.5%)、「変わらない」36.9% (25.6%)、「やや減少」28.9% (46.2%)、「減少」13.2% (2.6%) となり、D Iは▲21.1 (▲23.2) と2.1ポイント改善した。

○前年同期比の採算動向は「好転」0% (0%)、「やや好転」8.1% (18.4%)、「変わらない」51.4% (44.8%)、「やや悪化」35.1% (34.2%)、「悪化」5.4% (2.6%) となり、D Iは▲32.4 (▲18.4) と14.0ポイント悪化した。

**《主な自由意見》**

○昨年同期の売上

好転要因では、新規取引先の開拓や大型契約の受注、値上げの効果などの回答があった。

悪化要因では、来店数の減少や得意先の減少、ネット販売の影響、和牛高騰に伴う消費者の牛肉離れなどの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、販売価格の見直しや経費削減などの回答があった。

悪化要因では、売上減少や人件費の増加などの回答があった。

○経営上の問題

人材不足や人材育成、人件費の増加、地場金融機関の動向などを問題視する声が寄せられた。

**(サービス業) 回答：65社中35社、回答率53.8%**

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」2.9% (0%)、「普通」55.9% (65.8%)、「悪い」41.2% (34.2%)、「大変悪い」0% (0%) となり、DIは▲38.3 (▲34.2) と4.1ポイント悪化した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」11.4% (0%)、「普通」42.9% (59.5%)、「悪い」45.7% (40.5%)、「大変悪い」0% (0%) となり、DIは▲34.3 (▲40.5) と6.2ポイント改善した。

○前年同期比の売上げは、「増加」0% (0%)、「やや増加」28.6% (16.2%)、「変わらない」25.7% (43.3%)、「やや減少」34.3% (24.3%)、「減少」11.4% (16.2%) となり、DIは▲17.1 (▲24.3) と7.2ポイント改善した。

○前年同期比の採算動向は「好転」0% (0%)、「やや好転」14.7% (8.1%)、「変わらない」32.3% (46.0%)、「やや悪化」47.1% (37.8%)、「悪化」5.9% (8.1%) となり、DIは▲38.3 (▲37.8) と0.5ポイント悪化した。

**《主な自由意見》**

○昨年同期の売上

好転要因では、新規顧客の増加や価格改定、店舗の増加などの回答があった。

悪化要因では、顧客の減少やインバウンドの減少、団体客の減少、他社との競合、客単価の減少などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、価格改定による売上増加などの回答があった。

悪化要因では、売上の減少や仕入価格・経費の増加、団体客の減少などの回答があった。

○経営上の問題

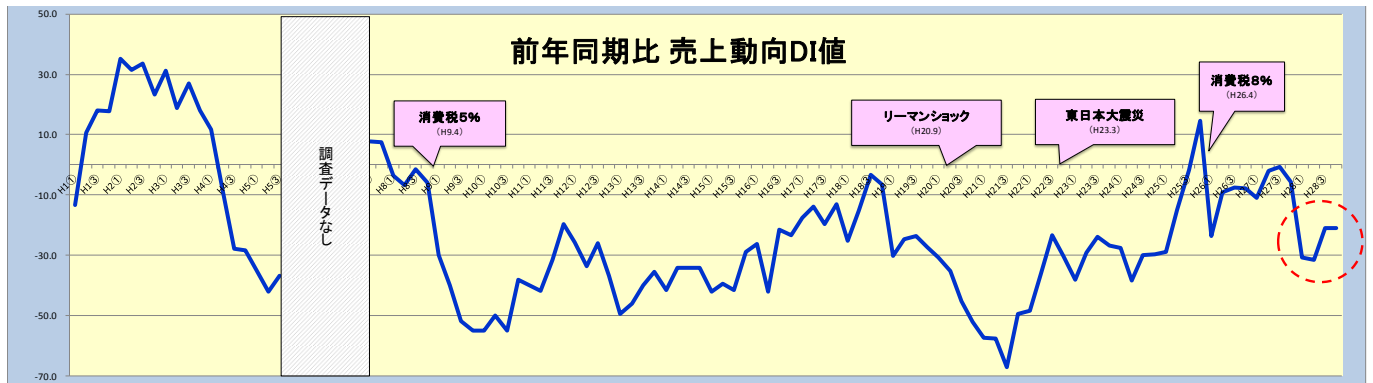
人手不足や人材育成、事業承継、施設の老朽化に伴う管理コストの上昇などを問題視する声が寄せられた。

以上

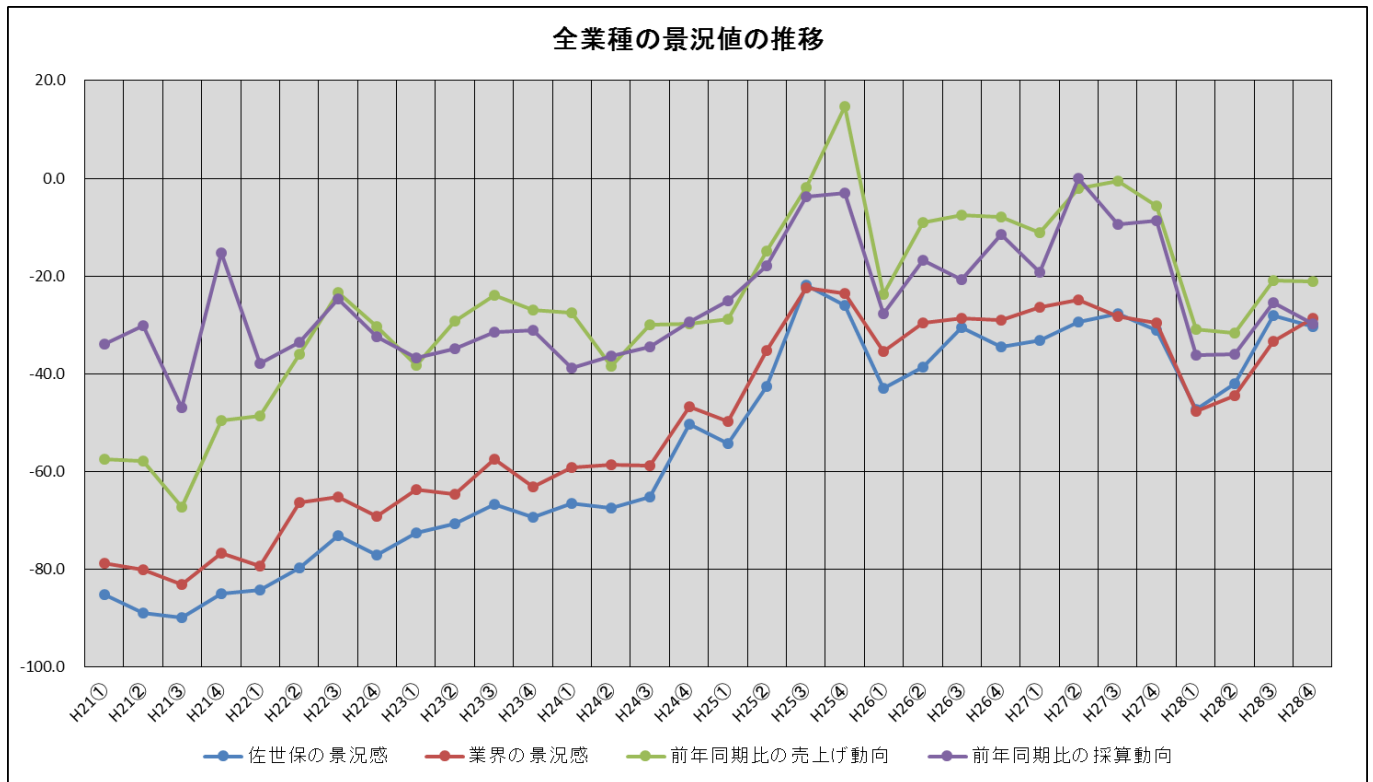


平成 28 年度第 4 四半期 経営動向調査表

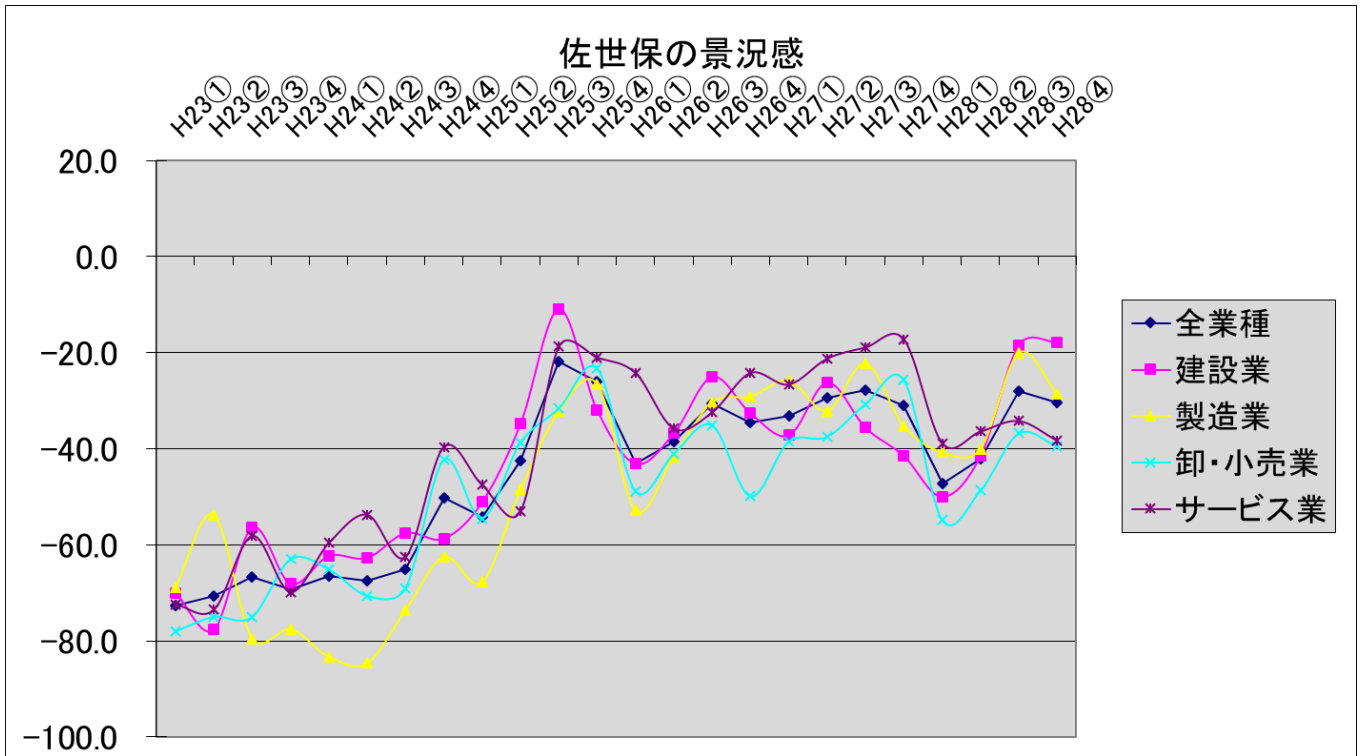
図表 1 - 1 【前年同期比売上動向D I 値の推移（平成元年～）】



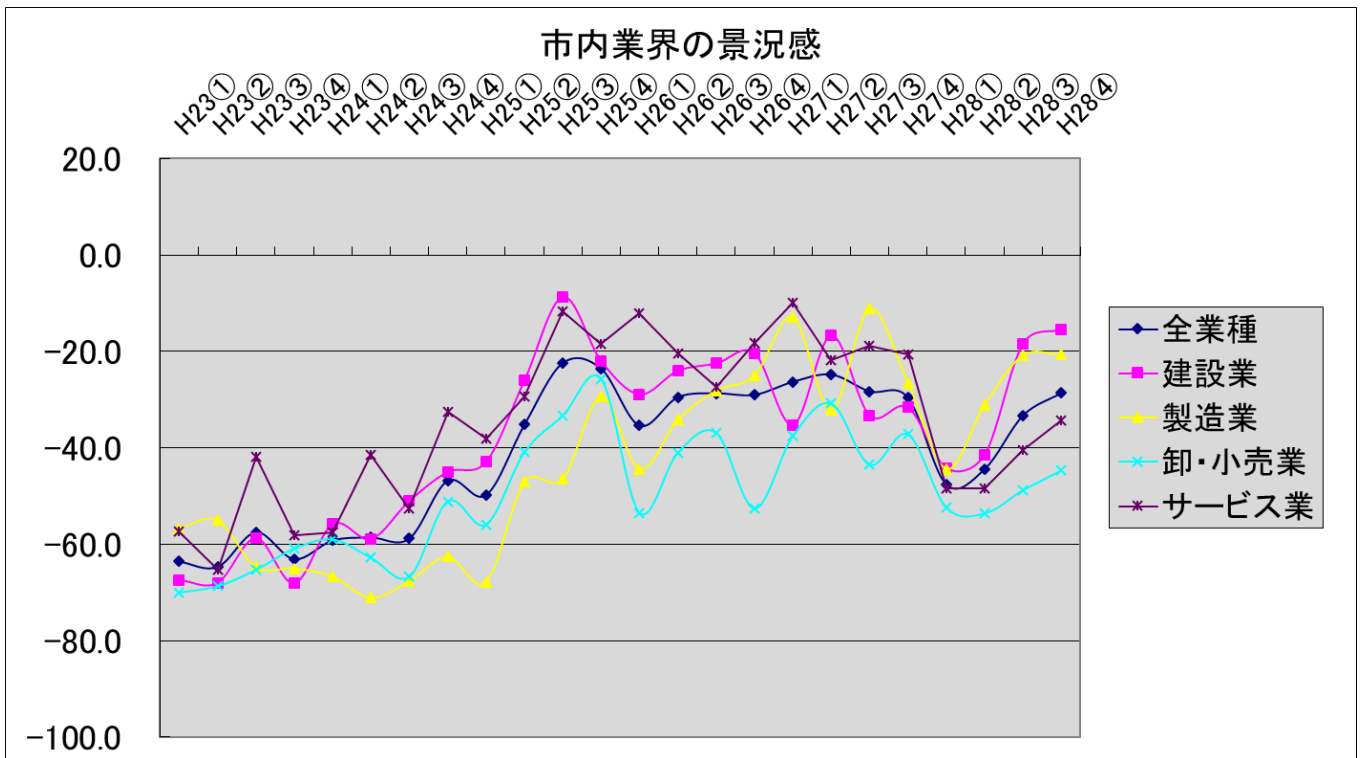
図表 1 - 2 【全業種D I 値の推移（平成 21 年～）】



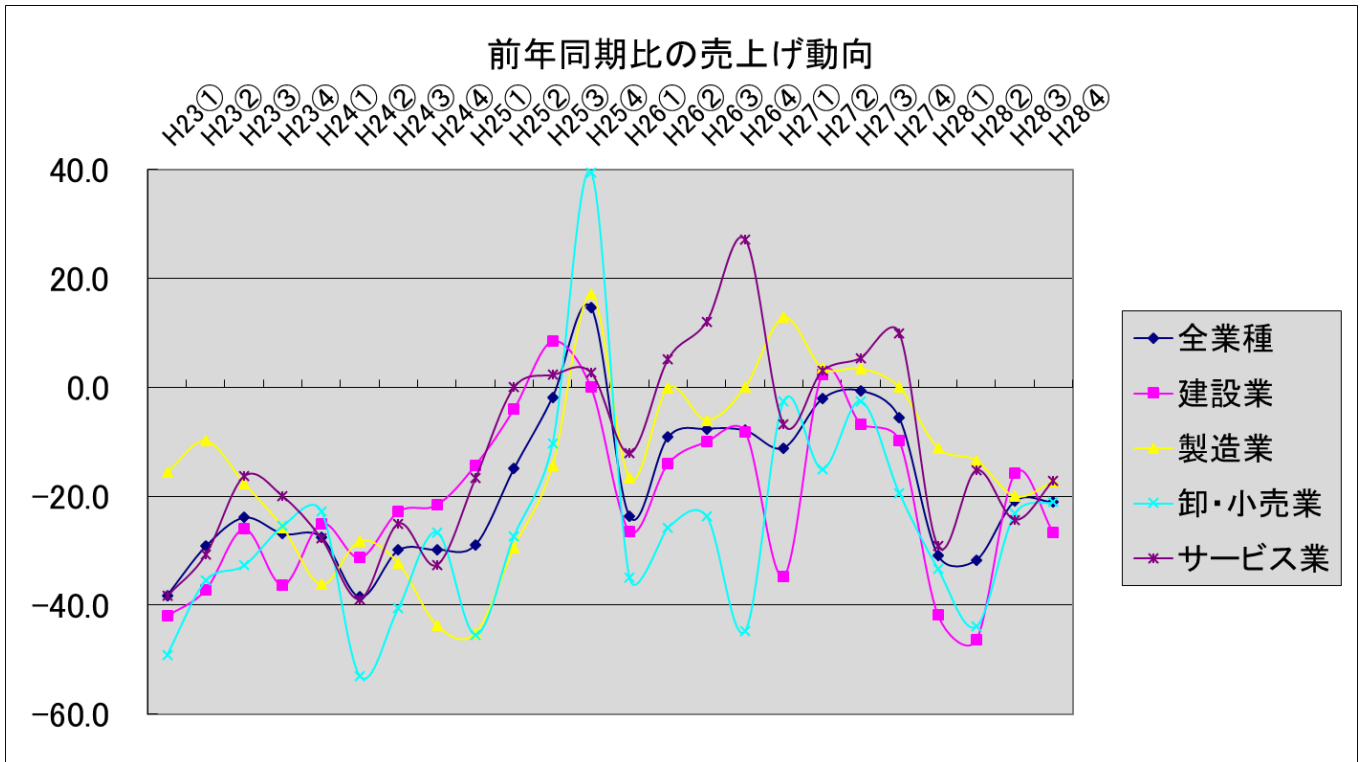
図表 1 - 3 【佐世保の景況感の推移（平成 23 年～）】



図表 1 - 4 【市内業界の景況感の推移（平成 23 年～）】



図表 1 - 5 【昨年同期比の売上動向の推移（平成 23 年～）】



図表 1 - 6 【昨年同期比の採算動向の推移（平成 23 年～）】

